



◆仕事と生活のバランスを

**問** 少子化や労働問題（過労・労働人口減少等）などへの対応のため国は昨年12月にワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）憲章及び行動指針を決定したが、市の啓発と推進はどうか。（丸山）

**答** 男女共同参画の視点で先行して講演会開催や啓発誌等で情報発信してきた。年齢・性別を問わず「働き方の問題」



嘱託保育士の雇用形態の早期改善を

上で仕事はほとんど変わらないが、一年更新の雇用という不安定な身分にある、正規職員化や労働条件の改善を。（古畑）

**答** 勤務内容が正規職員とほとんど違いがないことから、引き続き、報酬や休暇などの雇用条件を研究していく。

◆平和の取り組み強化を

**問** 戦争体験を語り継ぐ運動で全市的に開催している「平



利用しやすい児童館の運営を望む

◆児童館の利用時間について

**問** 児童館の開館時刻を30分早め午前8時開館にしてはどうか。（金子）

**答** 利用者に対するアンケート調査を行い、前向きに検討したい。

が核心部分にあり、家庭生活（子育て・介護含む）との調和や自己研鑽の機会が問われている。また、個々の企業にとっても今後人材確保が課題で「明日への投資」に繋がるものである。関係課や事業者等との情報交換を行い、連携した取り組みを進める。

◆体育館設置の議論が本格化

**問** 方向付けの材料は整った。市長の意思を示せ。（中村）

**答** 埼玉県和光市の体育館を参考にした研究委員会の提言を基に専門家に調査を依頼しており、8月には場所・規模等複数案を議会に示し、年内に議論を本格化させたい。

**問** 用地費を含めた財政計画はどうなっているか。（中村）

**答** 用地は市有地を優先的に考えているため、見込んでいない。23年度実施設計、24年25年度建設として、総事業費25億円を見込んでいる。財源は、国からの補助金10億2千万円余、合併特例債等の地方債14億3千万円余、一般財源7千万円余を考えており、ワ

## 財政と公共事業のあり方



和記念のつどい」を各地区ごとで開催できないか。（古畑）

**答** 大勢の市民が気軽に参加できる「つどい」のあり方、各地区での開催についても意見を聞きながら研究していく。

◆財政フレームについて

**問** 平成20年以降の財政フレームに体育館建設は入っているのか。（金子）

**答** 体育館建設を仮定して策定している。

◆学校・公民館の耐震化促進

**問** 市北部の避難施設が不足しているが認識は。（中村）

**答** 公共施設が少なく、既存のものも耐震性が不足しているためと考える。

**問** 国の補助率が有利になったが、広丘小学校体育館改築を含む耐震化計画を早める考えはないか。（中村）

**答** 子供の命を守ることが最優先であり、国の特別措置も



今後も利用する現市立体育館新体育館建設に向けた財政は？

イン債の発行も夢としている。